資料２

資源物持ち去りに関する苦情について

１　苦情件数の推移

年度	件数
平成２１年度	４件
平成２２年度	１７件
平成２３年度	１０７件
平成２４年度	１９１件

２　苦情の内訳

(1) 区別内訳（平成２４年度）

東	博多	中央	南	城南	早良	西	西部	不明	計
46	18	23	36	18	13	18	8	11	191
24%	9%	12%	19%	9%	7%	9%	4%	6%	―

(2) 苦情の内容

・見知らぬ者がごみ置き場にいて防犯上不安だ。気味が悪い。
・ごみ置き場を散らかしたままの状態で立ち去って行った。
・アルミ缶をつぶす音がうるさい。
・持ち去って価値のないものを家の前に捨てられた。
・価値がない自分のごみがどこかに捨てられるのかと思うと不安だ。
・ごみ袋は有料で購入しているのに袋ごと持ち去られるのは納得いかない。
・ごみ袋の購入費用にはごみ処理費用が含まれている。市が処理していないのに処理費用を負担させられるのはおかしい。
・中身はごみでもごみ袋は有料で購入したものだ。
・市が収集すると思うから安心してごみを出しているのに収集しないとはおかしいではないか。
・ごみは市が責任を持って処理すべきではないか。
・アルミ等の有価物はきちんと市の収入にしてほしい。
・資源ごみが海外に流出している。国内の大切な資源を守ってほしい。